

mruby/c 開発計画(組み込みクラス、他機能)

クラス、機能	説明	CRuby	mruby/c 各公開版で追加するクラス・機能				
			ver1.0 2016.12月公開予定	$\beta-4$ 2016.9月末公開予定	$\beta-3$ 2016.9月公開	$\beta-2$ 2016.7月公開	$\beta-1$ 2016.3月公開
Array	配列						
FalseClass	false のクラス						
NilClass	Nilのクラス						
Float	浮動小数点数						
Fixnum	一定以下の整数クラス						
TrueClass	Trueのクラス						
Hash	ハッシュ						
Range	始点、終点で定義する範囲オブジェクトのクラス						
Symbol	文字の意味を明確するクラス(Hashのキーやアクセサなど)						
Class	実行時の型情報を保持するクラス						
Block	複数個の文などのコードをまとめるブロック機能						
GC	メモリ最適化機能(/cはタスク単位で回収)						
GPIO	汎用入出力						
I2C	周辺デバイス とのシリアル通信機能						
String	文字列クラス						
Time	時刻を表すクラス						
Exception	例外処理のクラス						
UART	シリアル信号をパラレル信号に変換したり、その逆方向の変換機能						
Proc	ブロックとして記述された手続きを運ぶためのクラス						
Regexp	正規表現のクラス						
Math	指数関数、対数関数、平方根、および三角関数といった基本的な数値処理を実行						
SPI	シリアル周辺装置インターフェース						
Binding	具象データの形式およびプロトコル指定						
Dir	ディレクトリ(階層構造)の操作						
Encoding	文字エンコーディングをサポート						
Fiber	ノンプリエンティブな軽量スレッドを提供(GPU開放の手法)						
IO	基本的な入出力機能						
File	ファイルを管理						
Numeric	数値を表す抽象クラス						
Complex	複素数表示						
Integer	整数をオブジェクトとして扱う						
Bignum	巨大な整数を扱わせるための仕組み						
Rational	有理数のクラス						
Struct	複数の変数を一まとめにして扱う						
Thread	CPU利用の単位を管理するクラス						

公開済